



チンギス・ハーン騎馬像

会報

モンゴル

VOL. 58 2011.9.8

●発行所 中山 書房
 ●発行所 長野県モンゴル親善協会
 長野市須賀町532-3 労働会館内
 TEL・FAX 026-235-6717

親愛なるR.ジグジッド特命全権大使が離任され、帰国しました。

離任のご挨拶

前駐日モンゴル国特命全権大使

R.ジグジッド

本日は、かくも盛大な送別会を開催いただきまして、まことに有難うございました。この度、駐日モンゴル国特命全権大使としての任務を完了し、帰国することになりました。

思えば、1980年3月来日し、信州大学に留学してから31年、外交官として3度の赴任、計17年間。実に、これまでの人生の約三分の一を日本で過ごすことができました。特に大使としての7年間は皆様に暖かいご支援をいただき非常に充実した日々を過ごすことができました。有難うございました。

モンゴルと日本との関係における歴史的なこの期間に名譽ある、また、責任ある任務に当たることができまして、うれしい限りでございます。丁度、5年前に臨時大使から大使として就任しました時、本日と同様にお祝いの席を設けていただきました折に、次の3点に力を入れて行きたいと申し上げました。それは、日本とモンゴルの友好関係の一層の発展に尽力して参りたい。

次に、互恵的経済協力、特に民間の経済交流に力を入れて行きたい。

さらに、教育、文化、人材分野における交流促進をはかりたい。ということですが、

おかげさまで、在任中に皆様のご協力をいただきましたながら、また、双方の関係機関の努力により、モンゴルから二名の大統領、三名の首相、国会議長が来日することができました。日本から皇太子陛下と総理大臣のモンゴルご訪問を成功させましたことは何よりうれしいことでございます。

また、両国の関係を「総合的パートナーシップ」から「戦略的パートナーシップ」として進めることで合意できましたこともうれしいことでございます。さらに、地方自治体や民間レベルの交流が前進していると感じております。

これからモンゴル国に帰るわけですが、今やITが情報通信の発達した時代であり、空間的な移動があっても、私としては今までとまったく気持ちには変わっていません。今後も今までと同様に日本とモンゴル関係発展のため微力ながら努力してまいりたいと思っております。今までと同じように皆様と交流していきたいと思っております。

最後になりましたが、在日中に心から惜しみないご支援、ご協力をいただき、お世話になりました皆様方に、感謝とお礼を申しあげ、ますますお元気で日本とモンゴルのため今までと同様にご支援、ご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

またモンゴルで再会できますことを心から願っています。離任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

— 8月26日開催の送別会挨拶より —